

《Lesson 2》 現在完了【継続】：肯定文

＜現在完了【継続】【経験】【完了・結果】全てに共通する基本の形＞

have / has + 動詞の過去分詞

＜ポイント1＞ have に「持っている」という意味はない。have は、助動詞（can / should のような単語）。

＜ポイント2＞ have / has の使い分けは、一般動詞として使う時のhave / hasの使い分けと同じ。

＜ポイント3＞ 文脈や文に使われる副詞などによって【継続】【経験】【完了・結果】の使い分けがされる。

今回は、【継続】の形について学んでいきます。

＜現在完了【継続】肯定文：基本の形＞

主語 + have / has + 動詞の過去分詞 + ～ + **for** ～ .
since ～ .

「主語は～の間、（ずっと）動詞している」

＜意味＞ 「ある動作が継続的に行われている」 or
「ある期間の間（もしくはある時点から）『（ずっと）～している』」

《例》 私は5年間（ずっと）ここに住んでいる。
→ 5年前から継続して（ずっと）住んでいる。

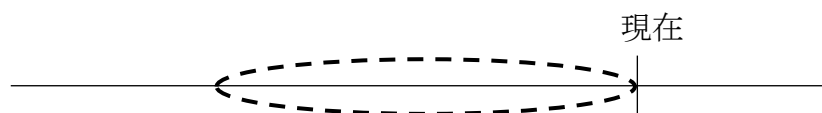
彼は今朝から（ずっと）英語を勉強している。
→ 今朝から継続して（ずっと）英語の勉強をしている。

＜特徴＞ 期間の長さを表す **for / since** が使われることが多い（期間が明白な場合は省略可）

for = ～ の間 （どれくらいの期間の長さなのかを表す）

＜例＞ 5ヵ月間 → **for** five months

約2時間 → **for** about two hours



【期間の長さ】 5 か月、約 2 時間

since = ~ (の時) から (どの時点から継続しているかを表す)

<例> 去年から → **since** last year
私が高校にいる時から → **since** I was in high school



【どの時点から】 去年から、私が高校にいる時から

<現在完了【継続】：例文>

- (1) I have played basketball for three years. (私は3年の間、バスケをしています)
- (2) He has *been in Kyoto since May. (彼は、5月からずっと京都にいます)
*be動詞の過去分詞は“been”。現在完了形ではよく登場します。
- (3) My sister has worked as a teacher since I was in junior high school.
(私の姉は私が中学校にいた時から先生として働いています)

【現在完了【継続】の肯定文：作り方】

ステップ①：「動作が続いている長さ」を無視して現在形の文を作る。

ステップ②：動詞の前にhave / hasを足し、動詞を過去分詞にする。

ステップ③：「動作が続いている長さ」を足す（「期間」なのか「時点」なのかに注意）。

<例1> 「私は3年の間、バスケをしています」という文の場合

ステップ①：「動作が続いている長さ」を無視して現在形の文を作る。

→ 「私はバスケをします」

I play basketball.

ステップ②：動詞の前にhave / hasを足し、動詞を過去分詞にする。

I have played basketball.

ステップ③：「動作が続いている長さ」を足す（「期間」なのか「時点」なのかに注意）。

→ 「3年間」 = 期間の長さなので for が使われる。

I have played basketball for three years.

<例2> 「彼は5月から、ずっと京都にいます」という文の場合

ステップ①：「動作が続いている長さ」を無視して現在形の文を作る。
→ 「彼は京都にいます」

He is in Kyoto.

ステップ②：動詞の前にhave / hasを足し、動詞を過去分詞にする。

He has been in Kyoto.

ステップ③：「動作の続いている長さ」を足す（「期間」なのか「時点」なのかに注意）。
→ 「5月から」 = 時点なので since が使われる。

He has been in Kyoto since May.

<ポイント！> 代名詞（主格）とhave / hasの短縮形

現在完了の文では代名詞(主格)とhave / has を短縮させた形も使うことができます。ただし、基本的に短縮形は、口語で使われる形なので、ライティングではあまり使われないことも覚えておきましょう。

I have → I've you have → you've we have → we've they have → they've
he has → he's she has → she's it has → it's

<ポイント！> 期間を表す for は現在完了以外でも使われる

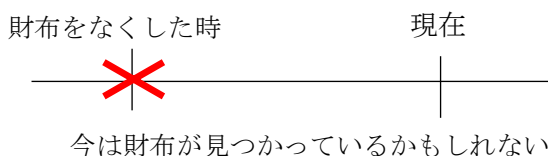
期間を表す for は、現在完了の文だけでなく、様々な文で使うことができます。例えば「これを毎日2時間する必要がある」のように現在形の文でも使えますし「アメリカに1週間、滞在する予定」のように未来形でも使うことができます。

<例> You need to do this for two hours every day. (あなたは、これを毎日2時間する必要があります)
We will stay in America for a week. (私たちは、1週間アメリカに滞在する予定です)

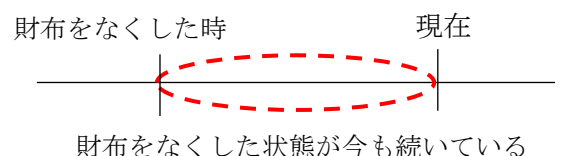
<ポイント！> I lost my wallet. と I have lost my wallet. の違い

普通の過去形の文である I lost my wallet. (私は財布をなくした) という文章は「過去のある時点ではなくしたが、今の状況は分からない。もしかすると発見されているかもしれない」という意味になります。一方で、I have lost my wallet. (私は財布をなくしている) という文章は「過去のある時点から、ずっと見つかっていない」という意味になる。

I lost my wallet.



I have lost my wallet.



本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。